

## 2) 琉球・沖縄の染織資料に関する調査研究

宮城奈々<sup>1</sup>

キーワード：近世琉球時代の黒朝衣 色材科学調査 染織技術調査 化学染料・天然染料 雲南省 楚雄彝族自治州 ユネスコ文化遺産、文化遺産保護と現代ファッションの統合

### 1. 調査研究目的

本研究は、当財団が所蔵する琉球王国時代の染織資料の価値を再評価し、その魅力を広く発信することを目的としている。琉球王国における海外交易および国内の亜熱帯環境で得られた色材や糸を原材料とした染織作品を対象に、科学調査および目視調査を継続的に実施する。また、調査研究で得られた成果を教育普及活動や外部からの調査依頼に活用し、首里城関連事業における研究・調査活動の充実および人材育成の促進に寄与する。

### 2. 琉球染織の専門技術調査

#### 1) 「黒朝衣」の糸作りおよび製織技術について

##### (1) 類似資料調査実施

日程：令和7年2月6日(木) 13:00-16:00

場所：宮古島市総合博物館

調査者：大城あや氏(芭蕉布工房うるく)、宮城<sup>1</sup>

対象資料：宮古島市総合博物館所蔵 黒朝衣 4点

##### (2) 調査方法

- ・採寸
- ・マイクロスコープ(Dino-Light)を使用し、糸の表面状態(写真-1、写真-2)および織密度(写真-3、写真-4)の拡大撮影
- ・撮影した写真は、比較分析用のデータとして使用。



写真-1 糸の表面 220倍



写真-2 糸の表面 220倍

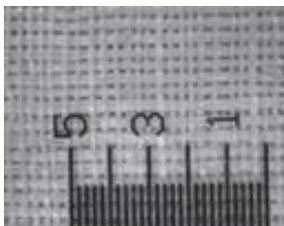


写真-3 経糸の織密度

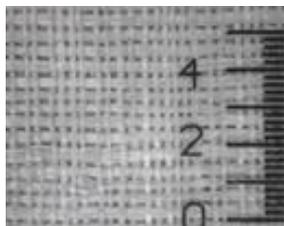


写真-4 緯糸の織密度

#### 2) 「黒朝衣」の色材および染色技術について

##### (1) 試験実施

日程：令和7年1月28日～30日

場所：佐賀大学 芸術地域デザイン学部

試験者：石井美恵氏(佐賀大学 准教授)、宮城<sup>1</sup>

対象資料：当財団所蔵「黒朝衣」の糸屑

##### (2) 試験内容

- ・染料抽出、成分分析、顕微鏡観察
- \*試験結果の詳細については、次年度報告予定

### 3. 色材科学調査関連業務

#### 1) 書籍刊行記念講演会

##### (1) 講演会(写真-5)

日程：令和6年5月25日 13:30-17:30

場所：沖縄県立博物館・美術館 3階講堂

発表者：宮里正子氏、宮城<sup>1</sup>、下山進氏・佐々木益氏、與那嶺一子氏(発表順)

聴講者：延べ100人

##### (2) 書籍販売

販売先：首里城公園内「球陽」、沖縄県立博物館・美術館内「ゆいむい」、当財団公式HP

販売数：5月時点72冊、8月累計340冊

##### (3) 関連展示会

場所：沖縄県立博物館・美術館 1階 博物館班 常設展示室

展示作品：当財団所蔵染織資料6点

#### 2) パネル展示会・オンライン展示会

##### (1) パネル展示会

日程：令和7年2月3日～16日(14日間)

場所：首里城公園 世誇殿

展示物：色材調査に関するパネル展(10枚)

対象：有料区域に入場した来場者

協力：当財団 首里城公園事業課広報展示係

##### (2) オンライン展示会

日程：令和7年2月3日～16日(14日間)

場所：株式会社ジャンボXPAND オンライン展示会場

展示物：・染織資料2点の全体写真(写真-6)

と部分拡大写真(写真-7)

・色材調査の結果で得られた色材の原材料、染料・顔料(写真-8)

・書籍紹介

<sup>1</sup> 琉球文化財研究室

- ・守礼門から世誇殿までの解説付き案内  
動画

アクセス数：203 件

### (3) 広報

- 期間：令和7年2月3日～16日（14日間）
- 方法：首里城公園公式HPに展示案内掲載  
首里城公園公式SNS（Facebook、X）
- 担当：首里城公園事業課広報展示係



写真-9 染色技法について説明



写真-5 下山進氏による講演会の様子

## 2) 国外（中国）

- 出張期間：令和7年2月11日～15日
- 依頼者：ユネスコ東アジア地域事務所（北京）
- 場所：雲南省楚雄州、同州永仁県直苴村彝（イ）  
族自治区（写真-10）
- 内容：「無形文化遺産と現代ファッションデザ  
インの統合に関するパートナーシップ  
会議」への参加
- 主催者：雲南省楚雄州人民政府、  
ユネスコ東アジア地域事務所（北京）

### (1) 2月12日 09:00-18:00

- ・楚雄州永仁県直苴村イ族の、1500年の歴史あ  
る農村ファッションショーを視察。男女とも  
に刺繍が施された伝統衣装を着用（写真-11）

### (2) 2月13日

ア) 09:00-16:00 パートナーシップ会議

- ①主催者あいさつ：  
ユネスコ東アジア地域事務所所長、中国共  
産党楚雄州委常務委員、同委員宣伝部長
- ②議長：ユネスコ文化部長
- ③発表者：中国8名、韓国6名、モンゴル2  
名、日本2名

宮城プレゼンタイトル（写真-12）：

「Dyeing and Weaving during the Ryukyu  
Kingdom Era 17th-19th Century  
Restoration and Research Study」

\*発表時間は一人10～12分内

イ) 16:30-17:30 討論会（写真-13）

議長、ユネスコ職員、会議発表者18名で、  
今後の課題や展望などについて発言。



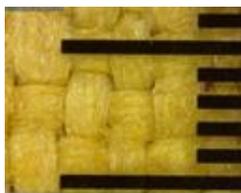
写真-6 紅型資料の全体



織物資料の全体



写真-7  
紅型資料の黄地部分拡大



織物資料の黄地部分拡大



写真-8  
紅型資料の黄地の色材  
顔料「石黄（セキオウ）」



織物資料の黄地の色材  
染料「鬱金（ウコン）」

## 4. 外部講師派遣

### 1) 沖縄県内（宮古島市）

- 日程：令和6年8月21日～23日
- 場所：宮古上布事業協同組合
- 依頼者：沖縄県工芸振興センター
- 対象：宮古上布事業協同組合員、宮古上布保持  
団体員等15名
- 内容：ラミー糸（紡績苧麻糸）の化学染料およ  
び植物染料の染色技法について、理論と  
実技による講習（写真-9）



写真-10 中国・雲南省の位置



写真-11 直苴村イ族ファッションショーの様子



写真-12 宮城プレゼンの様子



写真-13 討論会会場

## 5. 外部評価委員のコメント

琉球染織の色材や形態、意匠などを科学的に分析し、その情報を広く共有していくことは重要な研究課題であり、染織工芸の振興や継承のためにも必要な事業である。県外、国外との研究体制のネットワーク構築なども提言する。事業工程や予算執行状況も概ね順当と捉える。

(宮里顧問：浦添市美術館前館長)